

産学交流セミナー報告
「テキスタイルデザイナーの就業ガイダンス」

日時 1999年6月12日(土)

主催 日本テキスタイルデザイン協会
人材育成委員会

会場 宝仙学園短期大学 4号館 (東京都中野区)

- テーマ 「職業としてのデザイン職のありよう」
(テキスタイル業界の就職ガイダンスと就職情報の提供)
- 構成 「業界の構造と仕事内容」
 - ・学んだコトを何処で活かすか ————— 野末 和志 (有)企画屋えぬ 代表取締役
 - 「企業内デザイナーの立場から」
 - ・企業内組織とデザイナーの職務内容 ————— 竹谷 容子 (株)エム・シー・テキスタイル
 - 「フリーランサーの立場から」
 - ・自営業としてのデザイナーの実情 ————— 豊方 康人 (株)アトリエアイディ 代表取締役
 - 「商品のデザインとは」
 - ・企業利益追求とデザイン ————— 吉村 東一 泰道リビング(株) 開発部商品開発課
 - 「就職試験の実際」
 - ・面接の受け方など ————— 福田 行雄 東リ(株) 商品本部商品企画部
 - 「デザインにおける教育とビジネスの関係」
 - ・人材育成の課題について ————— 各講師
 - 「質疑応答」 ————— 各講師、オブザーバー各氏
- オブザーバー <企業から> 東リ(株)、泰道リビング(株)、西川産業(株)、(株)ローム各社の企画室の方々
<学校から> 各美術大学及びデザイン専門学校の諸先生方
- 司会進行 古屋 興一 (TDA常務理事、古屋興一デザイン事務所主宰)



【260名を越える大勢の学生が集う！】

テキスタイルデザイナーの人数は、他のデザイン分野と比べるとまだまだ少ないのかも知れません。しかしテキスタイルデザインという職名で呼ばれるようになって既に30数年が過ぎました。そして今、学生の教育や新人デザイナー育成の在り方、それに彼らを受け入れる社会&企業のデザイナーに対する意識や体制等についてより客観的な見直しが必要になっていると思います。そんな現状を踏まえて、去る6月12日(土)、TDAの「人材育成委員会」では、昨年11月に開いた今回と同じテーマの、産学交流セミナーが良い評価をいただきましたので、引き続き2回目のセミナーを開きました。今回は東京都中野区にある宝仙学園短期大学のご好意により4号館多目的ホールを会場に借りて行いました。300名収容のホールがほぼ満

員になる盛況ぶりでした。というのやはり不況による就職難と就職シーズン中というタイミングもあったと思います。がしかし、それ以上に各美術大学及びデザイン専門学校の諸先生方も多数出席されたことからわかるようにこの問題の重要性が増しているからです。今回は、幾つかの企業のデザイナーの方々にオブザーバーとして参加して質問等にに応じていただいたので、聴講する学生にとっては、「企業社会」が少しでも身近に感じられたことと思います。3時間のセミナーの間ほとんど中座する人もなく参加者は皆さん熱心でした。セミナーの後場所を変えて、講師の方々、諸先生方と懇親会を開き産学の交流を深めました。

(レポート 古屋 興一)